



保健・健康だより 5月号

吉美こども園 令和3年5月12日 発行



新緑がまぶしい、さわやかな季節となりました！ 連休が明けて、園にも子どもたちの笑顔と元気な笑い声が戻ってきました。新入园児のお友だちは、入园して1か月が経ち、少しずつ園の生活にも慣れてきたようです。これからの季節は外あそびにぴったりの季節です。体を動かして元気いっぱい遊び、お腹を空かせて、健康に過ごしたいですね！

さて、体や心にも疲れが出てくるのもこの時期です。新型コロナウイルスも身近に潜んでいます。規則正しい生活リズムや手洗い、うがいを心掛けて、感染予防に努めていきましょう。



内科検診が終わりました

5月10日、内科検診を行いました。検診結果については、後日、お知らせします。

なお、欠席等で内科検診を受診できなかったお子さんは、保健・健康カードを持って、野間医院八田診療所で内科検診を行ってください。（TEL. 0773-44-0001）



ロッカーの衣替えは大丈夫？

朝は肌寒い…と想着いても、日中は汗ばむほどの日が増えてきました。全身を使って活動している子どもは、みんな汗っかきです！また、大人より体温が高いので、日中は半袖でちょうど良いくらいです。

この時期のロッカーの中は、薄手の長袖が1~2枚、半袖シャツが3枚、肌着1~2枚、半ズボン2~3枚くらいが適切です。（パンツやズボン類は排泄の状況によって個人差があります）持ち帰った服の数だけ補充をお願いします！



溶連菌感染症

* 連休前ごろより、溶連菌感染症が入ってきています。流行中とまではいきませんが、くすぶっている状態です。

2~5日の潜伏期間の後、喉の痛みや扁桃腺が腫れる症状から始まり、頭痛、体のだるさなど、風邪の症状と同時に38~39℃の高熱が出ます。

発熱から2~3日経つと、首や胸、手首、足首に粟粒状の発疹が現れて、強い痒みを伴い、やがて全身に広がります。同時に、舌にイチゴ状の小さくて赤い発疹が現れます。

溶連菌感染症と診断されたら、抗生物質を10日から2週間ほど服用します。早い時期から服用するほど、治療効果があると言われています。発症から5日ほど経つと、熱も下がり、発疹や喉の痛みも治まります。

回復後、まれに急性腎炎やリウマチ熱にかかることがあります。症状が消えても薬はやめないようにしましょう。



手洗い・うがいで予防に努めましょう！

